

長生きしてね、ひいおばあちゃん

城南小学校 四年 佐藤 結奏

わたしのひいおばあちゃんは、今年で九十才になりました。ひいおばあちゃんは、とても元気で、九十才でも一人でくらししています。そして、毎日畑に行つて、たくさんの野菜を育てています。ひいおばあちゃんの作る野菜は、とてもおいしくて、わたしは、苦手な野菜でもふしぎと食べてしまいます。ひいおばあちゃんが作っている野菜の中で、わたしが一番好きな物は、トマトです。夏休みにひいおばあちゃんの家に行くと、ひいおばあちゃん、畑からつるつるっとした真っ赤なトマトをとってきて、

「ほおら、うまいぞお。」

と言って、わたしに出してくれます。わたしは、一口がぶつと食べると、トマトのしるが口からこぼれます。みずみずしくてあまさがぎつしりつまっている、とてもおいしいトマトです。わたしは、

「おばあちゃん、おいしいね。結奏、おばあちゃんの作ったトマト、大好きだよ。」
と言うと、ひいおばあちゃんは、

「んじゃ、結奏のために、もっともっとうまいトマトつくんなねなあ。」
と言って、しわをつくってわらいます。

ひいおばあちゃんは、料理もとっても上手です。とくに、こづゆ、からあげ、カレーがすごくおいしいです。

私は、ひいおばあちゃんの畑で作ったじやがいもほりの手伝いをします。とりたてのじやがいもで作ったひいおばあちゃんのカレー

は、ばつぐんにおいしいです。わたしは、もちろん、おかわりをします。家族みんなで、

「おいしいね。おいしいね。」
と言って笑顔になります。

この前、ひいおばあちゃんのおいおいをしました。九十才のおいおいの事を、「そつじゆ」というそうです。家族みんなで温せんへ行つて、そつじゆのおいおいをしました。みんなで書いたよせ書きやお花をプレゼントしました。おいしいごはんを食べて、ひいおばあちゃんと温せんに入ったり、お部屋でおしやべりしながらかたもみをしたり、とても楽しい思い出になりました。

そんなひいおばあちゃんですが、五年前におなかの病気で入いんしたことがあります。いつも元気なひいおばあちゃんが、病気になるってしまったところを見るのは、とてもつら

かったです。だから、ひいおばあちゃんには、いつまでも元気でいてほしいと思っています。

ひいおばあちゃんには、ゆめがあるそうです。それは、わたしが中学生になったすがたを見ることです。わたしは、勉強や部活動を生けんめいにかんばるすがたをひいおばあちゃんに、ぜったい見せたいです。そのために、わたしは、今から勉強やクラブ活動などをがんばって、すてきな中学生になります。だから、元気でやさしいひいおばあちゃんに、ぜったい長生きしてもらいたいです。